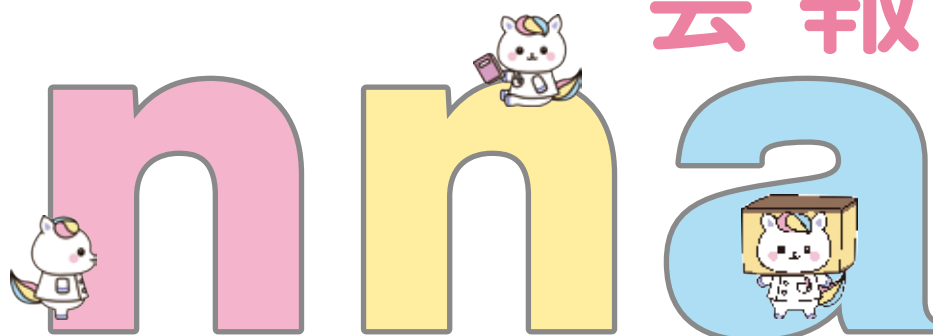




発行所：
公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072
長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL (0957) 49-8050(代)
FAX (0957) 49-8056
発行責任者：日野出悦子
印刷：株式会社クラフィット

nagasaki nursing association

｜ 理念 ｜
地域と共に歩み、
信頼され親しまれる病院

令和8年度通常総会を終えて	2
三職能合同交流會	
第30回 国際助産師の日 記念行事 報告	4
看護の日 記念行事 報告	5
企業や施設で働く 看護職の紹介	6
地区支部だより	8
プレゼント企画 会報nnaの感想	10
研修情報	11
施設紹介 上五島病院 訪問看護ステーション	12



上五島病院 訪問看護ステーション

会員様限定
プレゼント企画
マックカード
1,000円分 5名様
詳しくはP.10参照



通常総会

開催日 令和8年6月20日(土)
場 所 本 会 場 ながさき看護センター
支部会場 下五島、上五島、杵岐、対馬
(オンライン配信)



長崎県看護協会通常総会を終えて 会長 日野出 悦子

6月20日(土)、ながさき看護センターにおいて、令和8年度公益社団法人 長崎県看護協会通常総会を開催いたしました。平田研長崎県知事(代理)をはじめ諫早市長(代理)、釣船崇仁長崎県医師会長、久米春代長崎県看護連盟会長、他関係団体の皆様を式典にお招きしました。総会の出席者は、委任状提出者も含め7,405名でした。会員の皆様、ありがとうございました。

総会では、議決事項の「令和7年度決算報告」「名誉会員3名の推薦」「令和8年度改選役員・選挙管理委員・推薦委員の選出及び令和9年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出」と5つの報告事項が協議・報告され、議決事項は全て承認されました。

私は、開会挨拶の中で、令和8年度の診療報酬及び介護報酬改定について、処遇改善は進んではきたが、専門職としての役割と責任に見合う処遇には至っていないことから、日本看護協会が、引き続き、国へ強く求めていくとしていること。また、昨年6月、日本看護協会が「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を公表し、ビジョンを実現可能とするため、令和8年度からの3年間、新たな重点政策・事業に取り組むことをお伝えしました。本協会は、日本看護協会が掲げた重点政策を踏襲し、「看護の将来ビジョン2040」の具体化に向け、令和8年度の重点目標、重点事業を掲げ、取り組んでいくことをお示しました。

続いて、7名の方の叙勲等の受賞(章)報告と35名の方々へ長崎県看護協会長表彰を行いました。

報告事項では、令和7年度の事業と決算と監査の報告、令和8年度の重点目標・重点事業並びに事業計画と収支予算を報告いたしました。議事につきましては、会場参加の会員の皆様から、質問並びに協会事業の運営に関する多くのご意見をいただきました。会員の皆様からいただいたご意見は、協会の今後の事業活動と運営にしっかりと活かし、会員の皆様に還元できるよう、取り組んでまいります。なお、質問並びに意見については、「協会だより8月号」に掲載いたします。

最後に、毎年度、総会の折り、会員の方からご希望がありましたSNSを活用した情報発信について、昨年度から長崎県看護協会公式ラインを開始しています。

本協会の日々の活動や事業の紹介を随時行い、魅力ある看護協会に発展させることを目指していきますので、会員の皆様、是非、ご登録いただきますようお願いいたします。

令和8年度も、本協会の理念に則り、県民の健康な生活実現に寄与できるよう、皆様からのご意見をいただきながら事業推進してまいりますので、会員の皆様の更なるご理解とご協力をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。



受賞(章)者一覧 ～おめでとうございます～

※敬称略

令和8年 長崎県看護協会名誉会員

浦田 秀子 岡部 むつえ
吉村 津彌子



▲左から吉村津彌子さん、浦田秀子さん

令和8年 春の叙勲 瑞宝単光章

出口 砂緒利 山口 真美

令和8年 看護事業功労者知事表彰

小田 恭子 新川 哲子
山下 美和子



▲左から山口真美さん、出口砂緒利さん、小田恭子さん

令和8年 日本看護協会名誉会員

副 島 都志子



令和8年 日本看護協会会長表彰

日野出 悦子



令和8年度 長崎県看護協会会長表彰

出 口 砂緒利	杵 築 弘 実	鳥 越 絹 代	山 口 真 美
岩 本 さゆみ	木 下 日出美	中 尾 優 子	山 野 佐由利
岩 本 ルリ子	木 村 由美子	中 野 香 織	吉 田 沙矢香
江 口 美 和	黒 石 さゆり	野 口 里 織	吉 福 律 子
梶 みゆき	小 島 美 佳	久 松 千枝子	若 福 松 真理子
桎 山 順 子	坂 口 直 子	福 島 明 子	
糟 谷 操 子	佐 田 明 子	福 山 由美子	
片 桐 幸 子	城 本 みどり	藤 野 尚 子	
片 山 美 樹	竹 本 智 子	松 尾 直 美	
川 嶋 純 子	富 川 みゆき	三 根 直 子	

※五十音順

三職能合同交流会 開催報告

令和8年6月20日(土)、通常総会終了後に、ながさき看護センター及び離島4支部(オンライン)にて開催し、175名の参加がありました。

テーマは「みんなで考えよう!長崎県の看護の未来~2040年を見据えて~」とし、基調講演「看護の将来ビジョン2040」を国際医療福祉大学大学院 教授・副大学院長 福井トシ子先生(元日本看護協会会長)にオンラインによりご講演いただきました。日本の社会経済全体の課題に始まり、生活習慣病、疾患の慢性化などの疾病構造の変化により保健医療のニーズが増加・多様化し、また複雑化・高度化することで医療従事者の負担が増加することなど、保健医療に関する課題について講演されました。今後に向けて、看護DXの導入、看護提供体制、人材確保などの問題とともに、看護職一人ひとりのウェルビーイングを考えていく必要があるとお話されました。

引き続き、三職能委員長から長崎県の看護の現状について、保健師職能より「働き盛り世代の健康対策についての取り組み」、助産師職能より「思春期の子ども達への性教育活動」、看護師職能より「高齢化社会に伴う人材不足とAI・DXの活用、患者家族からのハラスメントの問題」などの課題と対応の報告がありました。

参加者から、「自分の部署だけでなくさらに地域に目を向けて自分たちから動いていくことが重要だとわかりました」などの意見をいただきました。



福井 トシ子氏



第30回 助産師職能委員会報告 国際助産師の日 記念イベント

2026年7月12日(日)に、国際助産師の日記念イベントを開催しました。本イベントは、地域住民及び全ての女性に助産師の役割を広く知っていただくことを目的とし、みらい長崎コワーキング2階イベント会場で実施しました。会場では胎児モデル人形の展示、助産師の活動紹介、赤ちゃんの写真展示、親子向けの性教育セミナー、妊婦体験コーナーを設置しました。

胎児モデル人形の展示では、幅広い年齢の方々が人形を抱っこしながら、参加しました。小児は「赤ちゃんかわいい、重たい」、そしてご年配の方からは「こんな感じだったのかな。重たく感じるな。孫はもっと大きい」など会話が弾んでいました。ふれあいワークに参加した親子の親からは「久々に手を合わせました。大きくなってきて、嬉しいような寂しいような感じです」また中学生からは「恥ずかしながら母に感謝します」という感想が聞かれました。

今回初めて設置した妊婦ジャケットを着用できる妊婦体験コーナーは、行列ができるほどの大盛況でした。出産を控えたご夫婦では、ご主人が「こんなに重たいんですね。妻が頑張ってくれているので僕も精一杯頑張ります」と話し、笑顔で体験されていました。

また、孫育てに協力されている男性からは「妻や嫁の大変さがよくわかった。子供が生まれ育てやすい社会を作らなければ今のままではサポートが薄い。問題が山積みだね。このイベントはとてもいいと思う。これからも頑張ろう」と労いのお言葉も頂きました。助産師になりたい学生さんは、興味津々に進学について尋ねてくれました。

このイベントは助産師の役割を広く知っていただくだけでなく、生命の神秘と大切さ、親子の触れ合い、子供を取り巻くサポートについて考える機会となりました。また、普段はお互いに伝えにくいことを伝える場にもなっていました。私たち助産師にとっても、普段の業務とは異なる形で、地域の方々の率直な声を聞くことができた貴重な機会となりました。今後も、このような活動を通じた地域とのつながりを大切し、助産師の活動を広く発信していきたいと思ひます。



看護の心を
みんなの心に

看護の日 記念行事 2026.5.9(土)

各地域で
記念行事を開催しました。



県南支部
浜町アーケード
ベルナード観光通り



県北支部
十八親和銀行本店正面入口前広場
させば四ヶ町アーケード内



白衣試着体験



補助箸で
宝石つかみ体験



聴診器体験

県央支部
ながさき
看護センター



上五島支部
新上五島町
石油備蓄記念会館



下五島支部
JAごとう
「産直市場五島がうまい」



壱岐支部
郷ノ浦町
八日市



対馬支部
長崎県対馬病院



詳細は8~9ページの地区支部だよりをご覧ください。

企業や施設で働く

星のおか保育園

〒856-0045 大村市向木場町1263-1
保育定員：60名(6ヶ月～就学前まで)

看護師 小原様、木村様、山口様

委員 伊藤 志保、近藤 郁恵

看護職へのインタビュー

① どうしてなろうと思いましたか。この職場に勤める前はどんなところでお仕事されていたか。

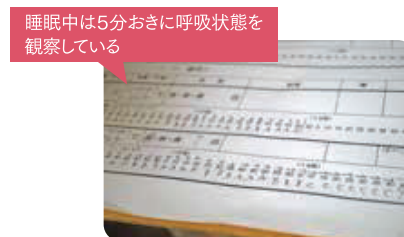
山口 子どもが1歳の時に、子育て支援員の研修を受けたのがきっかけ。仕事を探していて、子どもともそのまま一緒にいたくて、保育園で働くことになりました。8年目です。以前は、地域包括支援センターでケアマネージャーの仕事をしていました。

木村 以前、小児科病棟に勤務していました。夫の転勤で前職を辞めて、仕事を探していたところ、保育園での仕事があることを知り、働くようになりました。8年目です。

小原 先輩の紹介です。子どもの預け先の保育園を探しているときに、仕事も探していて、保育園で子どもも見てもらえて、一緒に居ながら働けるのでここに決めました。まだ半年です。以前は、個人病院に勤務していました。



小原さん、山口さん、木村さん



② 現在のお仕事はどんな内容ですか。

保育園では、病後児保育や体調不良児保育も行っていて、預かり中の子どもが発熱したなど体調不良になった時に、別室で隔離して保護者のお迎えがあるまで看ています。

子どもの与薬や保健指導、子どもの内科健診の際には、診療補助についています。また、職員へ心肺蘇生の練習などの研修を行っています。

アレルギーの子どもも預かっているため、エピペンの使用についての研修を最近行いました。アレルギー対策も取り、誤食しないように注意しています。

また、保育士の指示のもと、保育の補助も行っています。

3人でシフトを組んでいます。早出や遅出の時もあります。夜勤や残業はありません。

質問 コロナ等で集団感染することはありますか。

子どもの距離がどうしても近いので、仕方ない部分もあります。集団感染が発生しないように、体調不良の子どもがいる時は、隔離して看護師が対応し、安静にしております。保護者には情報を発信して、子どもたちに症状があるときはなるべく無理させないようにお休みを取ってもらっています。

③ やって楽しいことや逆に大変だったことはありますか。

子どもたちの出来ないことが出来るようになって、成長を見ることが出来て、すごいと思います。子どもたちから名前を呼んでもらえることも楽しみです。

「いつもと違うな」「食べ方が少ない」など子どもの小さな変化に気付いている先輩方を見て、すごいなと思いました。

保育園と病院との違いを感じて、感染対策はこれでいいのかなど、初めは戸惑うこともありましたが、日常生活の中でどう感染対策を行っていくのが大変です。

④ これからやろうと思っている人たちにメッセージをお願いします。

保育園で働くまでは何をやるんだろうと不安でしたが、楽しいからやってみてほしいです。病院とは違うから身構えちゃっていましたが、楽しいので大丈夫です。

保護者の方々の協力のおかげもあり、こんなに長く、楽しく働かせてもらってます。

の紹介

看護師 総務部 長崎安全防災課 看護師：梅澤様、大貫様、保健師：奥藤様

委員 近藤 郁恵、森 由佳里

看護職へのインタビュー

① どうしてなろうと思いましたか。この職場に勤める前はどんなところでお仕事されていたか。

梅澤 他県の病院で働いていて、結婚を機に帰郷して、昼の時間帯での仕事を考えて大村市内で探していたら、今の会社と縁があって声をかけてもらいました。ここで働き始めた頃は、事務兼診療所勤務で、事務の仕事をするが多かったため、周りには事務員さんと思われることもしばしばあったんですよ。もう勤務して20年以上になります。

大貫 他市の病院で働いていました。結婚を機に仕事を辞めたのですが、この会社内に診療所ができて、看護職がいると声をかけてもらいました。診療所が立ち上がって1～2年くらい経ったところに入職しました。

奥藤 以前は病院勤務をしていました。保健師の資格を活かしたいと思っていた頃に、産業保健で仕事を探していた際にちょうど募集が出ていて応募しました。勤務してまだ5年目です。

② 現在のお仕事はどんな内容ですか。1日のスケジュールを可能な範囲で教えてください。

私たちの仕事は主に社員の健康管理を行っており、体調不良時の対応や年2回の健康診断の日程調整、健康診断後のフォローアップ、ストレスチェック後の面談フォローなどを行い、みなさんが健康で安全に働くことができるようサポートをしています。

健康管理の一部として、社内診療所の業務があります。社内診療所の利用者は社員のみで、診療所ができてから20年ほど経過しました。社内診療所には定期的に診療医がきて保健指導や診察を行います。

診察については主に内科受診の時の診察介助(多い時は月200-250件ほど)や採血、心電図検査、処方箋に沿った薬剤準備を行っています。

他にも、計画に沿った安全・衛生活動の実施や、衛生管理者として定期的な社内のパトロール、健康教育の実施やメンタル不調者の面談などを行います。地域貢献活動として看護系大学の実習生の受け入れも行っています。

このような保健指導や看護業務に加え、業務に付随した事務作業も多くあります。

③ やって楽しいことや、逆に大変だったことはありますか。

- 元氣になっていく方を見た時はやっていて良かったと思います。
- 頼ってもらえるし、「話せてよかったです」と言ってもらえた時。やりがいがあります。
- 予防的視点での関わりについては信頼関係を築くまでのアプローチに時間を要する時もあります。
- 看護職が常駐し始めた当初は業務内容を知らない社員も多かったですが、色々な活動・関わりを通して認知されるようになったのは嬉しかったです。

④ これからやろうと思っている人にメッセージをお願いします。

働いている人たちを対象とした仕事で、社員が健康で働けるようにサポートすることが大切。予防的な視点が大事です。そのような仕事に興味がある方は、求人情報などのアンテナを張ってタイミングを見ることも大切ですよ。

取材後記

SUMCO TECHXIV株式会社へ訪問し、診療所内へ案内してもらったまでは、大きな会社でとても緊張しましたが、出迎えてくださった皆さまの笑顔にほっとしました。看護職の3名の方は社員の皆さんが健康課題や病気を抱えながらも働き続けられるようにサポートされており、会社の経営にも大きく貢献されていると思いました。

SUMCO TECHXIV 株式会社

〒856-8555 大村市雄ヶ原町1324-2
事業内容：半導体基板材料「シリコンウェーハ」の製造
従業員数：1,436名



診療所の窓口受付



社員との面談の様子



普段から安全靴を履いて勤務しています。作業現場から救護の呼び出しを受けて駆け付ける際には、場所によってはヘルメットやゴーグルなどの保護具を着用します。



今回の取材をとおして

保育所や企業で働く看護職の方のお話を聞くことができ、それぞれのやりがいや仕事の素晴らしさが分かりました。看護職の働く現場は病院や訪問看護、地域や施設、企業など様々で違いはあっても、私たちは看護職という資格を持った仲間・同士という気持ちが強く、お互いを尊重し合う良い関係でありたいと思いました。

GOOD
JOB!

7 支部活動報告

地区支部だより

各支部の活動や
お知らせをお届けします

県南支部 支部長 佐野 由佳

5月9日の「看護の日」記念事業として、浜町ベルナード観光通りにおいて「看護の心、ケアの心、助け合いの心を分かち合い育む」ことを目的に、『看護の心をみんなの心に』をテーマとして開催しました。今年は「乳房チェック」「健康相談」に加え、新たにユニフォーム試着体験を行いました。小さなお子さんが笑顔で写真撮影を楽しむ姿も見られ、多くの市民の方々の参加で盛況に開催することができました。当日は延べ約680名と大勢の参加があり、健康に関しての相談や支援を通じ、市民の方々とのふれあいの大切さを改めて感じました。また、「元気なうちから手帳」を192名の方に受け取っていただきました。市民の方々が元気なうちから人生の最終段階における医療や介護、これからの生き方について考え、大切な人や家族、医療・介護関係者と話し合うきっかけとなるよう思いを込めて配布しました。

今後も地域の方々との交流を大切にしながら支部事業を展開してまいります。よろしく願い申し上げます。



県央支部 支部長 原本 由紀子

今年度より支部長となりました原本由紀子です。よろしくお願いいたします。

5.9（土）「看護の日 ザ!いさはや」では支部内の看護学校、大学の看護学部 of 学生さんにも協力、参加していただき、他にも多数の出店があり皆さんより大変好評でした。SNS発信も加え広報し、300人の参加となりました。また、6人の高校生のふれあい看護体験発表から、看護職への関心と期待が大いに感じられました。講演では諫早総合病院の木下由紀子さん、がん看護専門看護師の徳永陽子さんにより『ACP人生会議って何だろう? 今日からできる“わたしの選択”』、諫早消防署の救急救命士の森塚康博さんにより『救急搬送の現状について』でした。クイズ形式で和やかに進み、その後率直な疑問が会場から発せられ、地域の人々と医療者が一緒に考えるよい機会となりました。7月より委員の方々も交代され新しい体制で発進しています。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

県北支部 支部長 徳住 恵美

地域住民の健康意識向上と看護の専門性を広く伝えることを目的に、5月9日(土)「看護の日」記念行事を開催しました。会場では血中酸素飽和度測定、聴診器体験、妊婦・高齢者疑似体験、白衣試着・車いす試乗体験等を実施し、子どもから高齢者まで多くの方に参加いただきました。特に、白衣試着体験や妊婦体験は高校生や子どもに人気があり、高齢者の方から毎年楽しみに来場しているという声も聞かれました。看護の日をきっかけに、多くの人に看護の心を知ってもらうとともに、看護職として働く私達自身も改めて看護について考える機会となりました。

また、6月7日(日)「生きる力食べる楽しみ」をテーマに青空のもとデンタルフェスティバルが開催され「看護協会まちの保健室」として参加しました。112名の方が来訪され、一番人気は血管年齢測定でした。特に30～40代の方が約半数を占め健康相談では熱心に質問もされていました。年配の方々は、日々健康づくりをしている方が多かったです。今後も市民の皆様の健康づくりにお役に立てるように活動していきたいと思



▲「看護の日」記念行事の様子



▲デンタルフェスティバルの様子

下五島支部 支部長 中口 輝美

今年度より下五島支部長になりました、中口輝美です。どうぞお願い致します。5月9日は「看護の日記念事業」を開催しました。血圧測定、塩分摂取量測定体験、健康相談などを行い、特に手指消毒の仕方では、『グーチョキパー』の替え歌を親子で一緒に歌いながら手指消毒の方法を伝え、子供達も楽しみながら行ってくれました。配布した記念グッズ「看護の日」キャラクター『かんごちゃん』は、子供から大人まで大好評でした。

また、五島市では6月14日『五島長崎国際トライアスロン大会』が開催され、国内外から570名の選手が参加していました。当支部は今年も救護スタッフとして4名参加しました。救護者18名、大きな事故なく安全に大会を終了することができました。

今年度の今後の活動ですが、9月5日に離島間通配信交流会を予定しており、「病院・施設・在宅をつなぐ感染対策の基本～地域で守る標準予防策～」をテーマに感染管理認定看護師より講演していただきます。また、10月3日は下五島支部交流会「在宅者の薬剤管理～看護職に伝えたい最近の薬の注意点～」をテーマに薬剤師より講演予定となっています。他、「看護協会まちの保健室」や「ふれあい看護体験」など企画していきたいと思っています。地域の皆様に看護の心をお届けできるよう活動していきます。今後も引き続き協力よろしくお願い致します。



▲『五島長崎トライアスロン』救護

上五島支部 支部長 横道 雅代

今年度より、上五島支部長を務めさせていただきます横道です。微力ではありますが、皆様のお力をかりながら看護協会活動を盛り上げていきたいと思

6月：病院フェスタで“看護協会まちの保健室開催”

7月：「認知症患者と身体拘束～安全と尊厳の間で私たちはどう考える～」支部交流会！

8月：高校生ふれあい看護体験！

9月：離島通配信研修会！

等など様々な活動を通して、看護の魅力をお伝えしてまいりたいと思



▲共催した“こね食堂プロジェクト”のカレー



壱岐支部 支部長 安川 優子

壱岐支部では、5月10日(日)の「看護の日」に合わせて、春の市で“まちの保健室”を開きました。

当日はよく晴れ、初夏を思わせる日差しの中、血圧測定や手洗い体験、ふれあい看護体験を実施し、たくさんの方に立ち寄っていただきました。

小さなお子さんからご家族連れの方まで、皆さんとお話ししながら、正しい手洗いの方法や日頃の健康づくりについてお伝えする、あたたかな時間となりました。

6月には、ツールド壱岐や壱岐市剣道大会での救護活動にも参加し、地域の安心を支えるお手伝いをしました。

地域行事を通して多くの方とふれあう中で、看護の役割や魅力を身近に感じていただけたのではないかと思います。

これからも、救護活動やふれあい看護体験などを通して、地域の皆さまと寄り添いながら、看護の魅力をお届けしていきたいと思

対馬支部 支部長 福島 利恵

5月17日に対馬病院で病院ふれあいフェスタが開催され、看護職員で企画した手術体験や沐浴体験、BLS体験、手洗い体験など、多くの子供たちと触れ合うことができました。支部委員は、看護協会まちの保健室を設置し、たくさんの来場者の血圧測定等を行いました。この体験を通して、子供たちが医療職を目指してくれることを願っています。

4月の「かみつしま渚キラキラウォーク」、5月の「城下町ウォーキング」が開催され看護協会まちの保健室として参加しました。このイベントは、市の健康増進課と保健センターが主催していますが、人口も減っている対馬では、年々参加者も減っているようです。対馬は島が大きく、買い物や病院受診、畑に行くにも車で移動する人がほとんどです。病院での看護活動だけでなく、対馬全体の健康増進活動に看護職としても協力していきたいと思



城下町ウォーキング ▶

プレゼント応募 ありがとうございました

会報nnaの感想

なかなか支部活動に参加できていないのですが、三職能委員会、地区支部の活動の情報は楽しみに拝見させていただいております。

病院紹介がよくわかり
興味がわきました。



広報出版委員会

医療的ケア児の増加に伴い、今後訪問看護ステーションやサポートが増えてきたらいいと思いました。

長崎リハビリテーション病院では入院中に退院後の生活を見据え、個性のあるリハビリ看護が行われていることがわかり、とても興味深い内容でした。また、集合写真の中のスタッフの皆さんの笑顔が印象的でした。



会員様限定



会報 nna の感想募集！

会報nna99号への感想を募集します！今号の中で一番印象に残った項目をお聞かせください。感想をお寄せいただいた方の中から抽選で5名様に、マックギフト券(1,000円分)をプレゼントします。

応募締切：10月30日(金)

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。
二次元コードよりフォームにアクセスをお願いします。
皆様の感想は、今後の会報作成に役立ててまいります。
ご応募お待ちしております！

問い合わせ

長崎県看護協会総務部
TEL:0957-49-8050



会報 nna への投稿募集！

会員の皆さんの声を会報 nnaに投稿してみませんか？
広報出版委員会では、会員の皆さんのお便りを募集しています。
投稿いただいた方の中から抽選で1名様に、かんごちゃんのポーチをプレゼントします。
※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



テーマ：お気に入りの写真

写真の内容は問いません。とっておきの一枚をぜひご紹介ください！
[掲載紙] 会報nna 1月、5月、9月発行
[投稿方法]

二次元コードよりメールフォームにアクセス
→メール作成画面はこちらをクリック

必要事項をご記入いただき、写真を添付して、投稿をお願いいたします。
※メール本文の文字が化ける場合は、ページ内の別リンク(文字が化ける場合はこちらから)よりアクセスしてください。



研修情報

委員会主催の交流会については、会員無料で参加できます！
この機会にぜひ参加して、スキルアップしていきましょう。

委員会主催交流会 (11月～12月)

月	委員会名	研修名	開催期間	申込方法等
11月	保健師	保健師職能研修・交流会 つながろう！産業保健と地域保健～第2弾～	11/28 (土)	お申込み・詳細については、 ホームページをご覧ください。 【お問合せ先】 総務部 0957-49-8050
	助産師	出産後も継続支援が必要な母子支援について市町の取り組みを学ぶ ～保健師と看護師・助産師の連携～	11/1 (日)	
	看護師	患者に寄り添った医療をナラティブ・アプローチの視点から考える	11/14 (土)	
	安全管理	医療・介護施設の安全を考える交流会	11/28 (土)	
12月	災害	災害支援ナース交流会 能登半島地震における感染症対策 / EMIS (J-SPEED) の入力方法	12/12 (土)	

研修情報

2026年10月～1月の研修情報をお知らせします。
研修の詳細とお申込みについては、マナブルをご確認ください。

研修一覧検索 &
研修申込サイト
manaable



月	研修No.	研修名	開催期間	申込期間
10月	2624	看護研究フォローアップ ～悩み解決！院内・院外発表に向けて～	10/29 (木)	開催日の1か月前まで
11月	2625	New ストレスに負けない！心と体のバランスを整える！ ～看護職のストレスマネジメント～	11/1 (日)	
	2626	看護の現場ですぐに役立つ看護記録 ～伝わる記録のコツと書き方～	11/6 (金)	
	2627	リニューアル はじめてのリーダー ～看護職に求められるリーダーシップ～	11/7 (土)	
	2628	反省にとどまらない！ 看護マネジメントリフレクション	11/13 (金)	
	2629	循環器領域の検査データの見方・活かし方① [心電図編]	11/18 (水)	
	2631	がん薬物療法の基礎 ～患者・家族への関わり～	11/26 (木)	
	2632	パシエントハラスメントの予防・対応	11/27 (金)	
12月	2633	New 術前・術後管理に役立つ！周術期看護の基礎知識	11/28 (土)	開催日の1か月前まで
	2634	場面に応じたアドバンス・ケア・プランニング (ACP)	12/4 (金)	
	2635	はじめてのプリセプター ～新人の一番近くに～【第1回】	12/15 (火)・ 12/16 (水)	
	2636	認知症高齢者の看護実践に必要な知識【第2回】 ※「認知症患者のアセスメントや看護方法等に関する適切な研修」に対応	12/17 (木)	選考による受講決定 申込締切：10/1 (木)
	2637	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	12/19 (土)	選考による受講決定 申込締切：10/19 (月)
1月	2638	循環器領域の検査データの見方・活かし方② [画像診断編]	12/23 (水)	開催日の1か月前まで
	2639	はじめてのプリセプター ～新人の一番近くに～【第2回】	1/7 (木)・ 1/8 (金)	

オンデマンド研修

月	研修No.	研修名	開催期間	申込期間
9月	2646	フィジカルアセスメント～呼吸・循環～ (No.2612と同じ内容)	9/15 (火)～ 9/30 (水)	9/28 (月) まで
10月	2647	フィジカルアセスメント～脳神経系～ (No.2620と同じ内容)	10/15 (木)～ 10/30 (金)	10/1 (木)～ 10/28 (水)
12月	2648	循環器領域の検査データの見方・活かし方① [心電図編] (No.2629と同じ内容)	12/8 (火)～ 12/23 (水)	11/24 (火)～ 12/21 (月)
1月	2649	循環器領域の検査データの見方・活かし方② [画像診断編] (No.2638と同じ内容)	1/15 (金)～ 1/30 (土)	1/4 (月)～ 1/28 (木)

施設紹介

Facility introduction

上五島病院 訪問看護ステーション



当ステーションは、看護師7名、リハビリスタッフ1名、クラーク1名の9名で訪問看護を通じて住民の方々の在宅療養をサポートしております。上五島の豊かな自然とあたたかな地域の繋がりの中で病気や障害があっても住み慣れたご自宅や地域で安心して暮らし続けられるよう、看護師が自宅へ訪問し、一人一人の状態や生活環境に合わせた看護サービスを提供しています。

健康状態の観察や、医療処置、服薬管理、リハビリテーションの支援をはじめ、本人やご家族の不安や悩みに寄り添いながらお話を伺っています。主治医やケアマネージャー、介護事業所など地域の関係機関と密接に連携し、切れ目のない支援体制作りに努めています。

離島である上五島では医療資源が限られており、在宅療養に対応する事業所もすくないため、互いに顔の見える関係でもあります。それぞれの事業所と関わる中で私たちは看護の専門性を活かし、ご自宅で必要な医療や看護を受けられるように環境を整えています。利用者の終末期ケアにも対応し、その人らしく最後まで尊厳を大切にした看護の提供をめざしています。



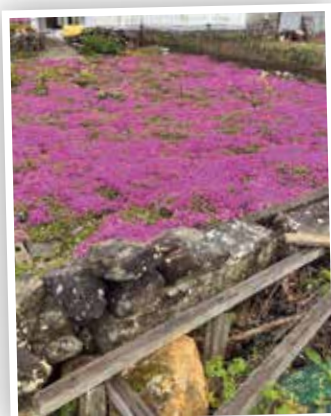
矢堅目（上五島の観光名所）この景色を見ながら利用者さん宅へ訪問します



青砂教会 国指定重要文化財
利用者様の中には信者の方も
多く生活の中に息づいています



小河原海水浴場



春の太田 芝さくら
（以前利用して下さった方が
大切に育てた芝さくら）



奈摩地区の景色

利用者様の
自宅近くのカメ



町のキャラクター
「あみーご」



上五島病院



ステーション前の桜のしたで



遠くにとりの島や海、
空きれいな景色を
みながら利用者さんの
自宅まで移動します